

この本のあらまし

二宮尊徳像はどこにあるの？

南相馬市には、二宮尊徳（二宮金次郎ともいいます）の像があちらこちらにあります。一昔前まではどこの学校にもありました。現在、尊徳像や金次郎像が見られるところはどこなのか、調べてみましょう。

10ページ

二宮尊徳とはどんな人？

南相馬市内に尊徳像や金次郎像があちらこちらにあるのはなぜでしょうか。像として残っているのだから、二宮尊徳という人は、南相馬市の人々にとって素晴らしいことをした人だということは想像がつくでしょう。では、どこで生まれ、どのように育ち、どんなことをした人なのかをみていきましょう。

12ページ

報徳仕法とはどんなこと？

二宮尊徳は、素晴らしい行いをしましたが、その教えと方法を「報徳仕法」といいます。

金次郎像は、たきぎを背負って本を読んでいますね。それは、勤勉の象徴のように思われていますが、実は金次郎は、勤勉より勤労を重んじていました。「忙しくても勉強しなさい」というメッセージではなく、本を読んでも実践を忘れるなという意味で、一歩踏み込むことの大切さを伝えていきます。口だけ、頭だけの人間になるなという金次郎のメッセージです。

16ページ

報徳仕法は、「至誠」「勤労」「分度」「推譲」という四つの教えが基本となっています。

やさしくいえば、「まっすぐで思いやりのある心」「熱心に働くこと」「自分にふさわしい生活をする」「余分をつくりだし、それを将来のために残したり、他の人や社会のためにゆずったりすること」なのです。

報徳仕法はなぜ、どんなことが行われ、どれだけの成果があったの？

冷害のために農作物がとれず、食べ物がいなくなり、食糧不足になったときがありました。相馬の殿様や家来たちはむだづかいをしないなど一生けんめい頑張りましたが、あまり良くなりませんでした。

18ページ

そこで、報徳仕法を取り入れて立て直そうとしたのです。作物が育つためには水が必要です。その水をたくわえるためにため池をたくさん作りました。また、働き者に褒美を与えたり、冷害に強い食物を作ったりするなどさまざまな方法を行い、餓死する人もいなくなりました。この地方では報徳仕法を行ったどの地域よりも素晴らしい成果を上げることができました。

どんな人が報徳仕法を行ったの？

二宮尊徳は、実際に南相馬市には来なかったのですが、中村藩の藩士である富田高慶が尊徳の一番弟子となって学び、藩に戻ってから中心となって報徳仕法を行ったのです。高慶のほかにも高慶の甥の斎藤高行、算術や測量学などに非凡な才能を発揮した荒至重など、たくさんの方が素晴らしい考えと行いをし、さらには報徳仕法を農民などすべての人々に行き渡らせて、報徳仕法を成功させたのです。このとき努力した根気強さは、相馬地方の人々の気質として残っているのではないのでしょうか。

32ページ



金次郎くん



高慶くん

みなさん、はじめまして！
ぼくたちはこの本の案内係です。

尊徳が亡くなってからどうなったの？

尊徳が亡くなった後、その子尊行と弟子たちが受け継ぎました。明治時代、石神村に移住した二宮一家は、富田高慶たちとともに興復社を結成し、報徳仕法を行いました。

38ページ

報徳仕法から学ぶことは？

尊徳の教えから、お金を自分だけで貯めるのではなく、みんなが使えるように工夫した信用組合ができたのです。このことも報徳仕法から学んだことといえるでしょう。

42ページ

尊徳の教えをわかりやすくあらわした「報徳訓」です。この中にはいつの世の中にも通じる教えがいっぱい詰まっています。そのほかにも尊徳から聞いた話をまとめた『二宮翁夜話』など多くのためになる話が残っています。

二宮尊徳はどのくらいすぐれた人？

この報徳仕法が実施されてから、ずっと後にも内村鑑三などによって世界に向けて尊徳が紹介され、国内に限らず海外でも素晴らしい考えであると認められるようになったのです。現代の世の中で報徳仕法に学ぼうと「魅力あるまちづくり、ひとづくり」を推進している「報徳サミット」が、報徳仕法とゆかりのある市町村で毎年開催されています。（平成28年度南相馬市で開催）

48ページ

南相馬市以外のどこに史跡があるの？

相馬市や浪江町、双葉町などいろいろな場所で報徳仕法が行われた跡が見られます。

56ページ

学校で報徳仕法を学習するには？

各学校で報徳仕法を学ぶにはどうしたらよいのか、実践例に学びましょう。

60ページ

博物館には何があるの？

南相馬市博物館には、報徳仕法に関する資料が展示してあります。中には、褒美として農民に与えられた鍬や昔の町並みなど当時の生活ぶりが分かるものが数多くあります。目で見ると、その時代の生活のにおいを感じれば、報徳仕法が実施された時代背景を考えるてだすけとなることでしょう。

62ページ